



羅針盤

2017年度 第5号
都立豊多摩高等学校
進路図書部

2017（平成29）年6月14日発行

オープンキャンパスに行こう

■オープンキャンパスとは？

高校生に大学のキャンパスを訪ねてもらい、その大学の先生や学生が高校生に直接大学を紹介するイベントです。学部学科紹介のほか、模擬授業、キャンパス見学、入試説明や個別相談などがあります。入試の過去問題集を受領あるいは閲覧できたり、学食体験できる所もあります。ふだん私たちが大学を知るとき、大学案内の冊子を閲覧したり取り寄せたり、あるいはネット上で大学のサイトを見たりすることはできます。しかしながら、大学の先生や学生から生の声を聞き、現場で実態を把握するには、オープンキャンパスに行くのが一番です（ただし、その日は平常授業日とは異なる「お祭りの日」みたい＝私たちにとっては「記念祭の日」みたい、という指摘もありますけれど）。大学の学費は高校より桁違いに高くなります。その金額や奨学金制度も、個別相談などで大学職員の人から直接聞くのが確実です。

志望校がいくつかある人はその大学に行って、志望校の絞り込みに活かしましょう。一方、大学がよくわからないという人（2年生にいませんか？）は、最初は「とにかく」という気持ちで行ってもいいです。行先を決めている友達についていくでもいいし、先輩や家の人から聞いたことある名前の大学でもいいです。交通が行きやすい大学でもいいです。大学がどんな所か？ 研究、教育、設備、学生の雰囲気を知るところから始めましょう。

■どうやって開催を知るか？

オープンキャンパスの日時や内容、アクセスのしかたを詳しく知るには、大学のサイトを見ましょう。検索するなら「〇〇大学 オープンキャンパス」と入れればOK。複数回開催されますから、部活や講習の日程と重ならないように予定を組みましょう。キャンパスが複数ある大学では、キャンパスにより日程が異なる場合が多く、要チェックです。

行く前に内容を必ず確かめます。特に、説明会や模擬授業、見学会など、目的のイベントの開始時間や開催（集合）場所はおさえます。大学への行き方も、交通機関や地図に不慣れな人は対策しておきましょう。人によっては、進路希望が共通で当てになる友達といっしょに行くのも手です。

■当日、そして行ってきたら

大学側からみると、豊多摩生はどんな人か探りを入れる機会になります。身だしなみがだらしないように整えてから家を出て、キャンパスでは「まともな生徒」と気づいてもらえるように、くれぐれも誤解されないように、行動してください。

行ってきたらその日のうちに、志望校になるか、なるとしたらどこが他校との比較点になるか、日記なりノートなりに書き留めておきましょう。当日の印象は当日記録！これがのちに自分だけの貴重な入試資料になります。

（進路図書部 三池田修）

学部・学科を選択する際の大事な視点

1, 2年にはオープンキャンパスの季節の到来であり、三年には学部・学科を最終的に絞りこむ時節がやってくる。すでに、自分のやりたいことが具体的にかなり細かく決まっている人もいるかもしれない。特に3年生の中には大学、学部、何先生のゼミで何を専攻するかまで。それは、それで結構、立派である。しかし、大方はそうではないと思うので、特に学部、学科を選択する際の重要な視点を提供しよう。

■就職と学部について、誤解はないだろうか？もう一度確認してみよう。

スポーツ学部に行きたいという人がいる。理由を聞くと「ミズノとかスポーツ用品の会社に勤めたい」から。これは明らかに誤解である。別に、スポーツ学部に行かなくともスポーツ用品の会社に就職することは可能。たとえば、経済学部、経営学部出身の社員だって結構いるはずだ。食品関係も栄養学科＝食品会社への就職ではない。文学部でハウス食品もありえる。ハウス食品だって宣伝や販売という部門もあるんだから……。観光関係の仕事につきたいというと観光学部以外ないと考えがちだが、実際、圧倒的に人気のあるR大学観光学部の就職先で、観光関係は約20%にしか過ぎず、一番多いのはナント金融の約40%である。

■学ぶ内容からも、その学部でなければ絶対にダメなのか、考えてみよう。

例えば、経営学部・商学部を希望している場合、更に広げて経済学部までは考えられないだろうか。学ぶ内容の違いはあるものの、まったく違ったことを学ぶわけではない。大学によっては経済学部の方が入りやすい場合もあるし、何より選択の幅が広がる。また、例えば、国際学部を志望している場合、外国事情に関してならば政治学部、ないしは経済学部でも学べるはずであり、外国語だったら、文学部英文科、スペイン語科などでもよくはないのか。同じ大学でも国際やグローバルと名がつくと難易度が極端にアップする傾向がある。国際系学部だけではなく文学部なども併願するという入試の難易度も考えたリアルな選択もありうるはずだ。

■なによりも重要なことは自らの思いこみで選択の幅を狭くしないということである。

受験には不確定要素がつきまとう。受験する学部数が多ければそれだけ合格する可能性も高まる。「これだけしかない」ではなく、「これもあれもある」という状況、選択肢を広げることが肝要である。

■追記

特にここ数年、「社会学部ってどんなことを勉強するの」という質問をよく受ける。簡単に説明しよう！普段身の回りに起きている「当たり前」のことを徹底的に分析、その原因や問題を研究していく、ムチャクチャ守備範囲が広い学問。研究者の数だけ学問分野があると言われる。つまり何をやっても研究になってしまうみたいな……。ところあり。例えば「ドラえもんにおけるのび太の行動と日本の高度経済成長」なんて研究テーマもありそうなくらい…。観光学やメディア学も広く言えば社会学に入る。さて、興味の湧いた諸君！！オーキャンで探索すべし！！

(進路図書部 岩品千里)